

# 2020 年 里山づくり隊 12 月の活動

里山づくり隊は■里山景観の整備■希少植物の花育て■オオムラサキの飼育など  
甘樫の丘の景観保全とそこに生物多様性を生み出すボランティア活動に取り組んでいます



紅葉シーズンも終わり、園内の森はすっかり冬の景色になりました。豊浦休憩所から外周の園路を少し右に上るとサザンカが鮮やかな赤い花を咲かせています。クヌギの梢木(ほだぎ)にはシイタケも育っていました。冬の甘樫は、木々が葉を落とした明るい森の散策や、乾燥した空気にくっきり見える展望台からの見晴らしが楽しめます。

これからの季節、冷え込む日も多くなりますが、冬の甘樫にも是非お出で下さい。



今月の里山づくり隊は、来年2月に火入れを行う炭焼きの準備に各チーム合同で取り組みました。甘樫の炭焼き窯には百数十本のクヌギの原木を詰め込みます。また、バイタと呼ばれる原木の上部で燃やす小枝も大量に必要です。そのため、日頃草刈りや剪定などで管理しているエリアで伐採を行い、規定の寸法に切り揃える作業を行いました。炭焼きの火入れは公園イベントとして実施し、一般の皆さんもご覧いただけます。



炭焼きの準備と並行して、花づくりチームは草花の栽培エリアの草刈り、オオムラサキチームは飼育小屋のエノキの植え替えなどの作業をしました。オオムラサキの幼虫は、エノキの落葉の中で越冬します。

また、今回初めて県から動力薪割り機を借用して、廃材を薪の束にする作業も行いました。

